



英語論文ワークショップ

— 論文執筆から査読対応まで —

効果的な論文の修正方法が知りたい、不条理に感じる査読コメントへの対応方法がわからない…実際に論文を投稿する上で、皆さんお悩みはございませんか。

今回は、英語論文執筆に関して数多くの講義経験を持つDavid Kipler (デビッド・キプラー) 先生をお迎えし、研究論文作成の原則や論文修正のコツ、効果的なカバーレターの作成方法、査読コメントにうまく配慮し対応する方法とコツをご教示いただきます。皆様、奮ってご参加ください！

2017年 **12/9** **土**

13:00 ~ 17:10

G-38教室

文教キャンパス グローバル教育・学生支援棟3階
※文教スカイホールと同じ建物の3階です

■ ワークショップ内容 ■

1. 研究論文の執筆と修正のコツ

- 良いサイエンスライティングの特徴(明瞭、正確、簡潔な文章を書くコツ)
- 演習: 記述的アブストラクトの修正(論文中のエラーの発見と修正方法)
- Google Scholar を用いた正しい英語表現の見つけ方

2. 効果的なカバーレター執筆と査読対策

- カバーレターの構成要素を理解する
- 希望する査読者の提案方法
- 倫理の開示について
- 査読者への対応(回答のフォーマット、効果的な回答のコツ、誤解のある不条理なコメントへの対応)

※途中休憩あり

※本ワークショップは英語で行われます。

対象

本学研究者

大学院生(博士後期課程、5年一貫専攻)

事前登録

<https://goo.gl/He8pQu>



- 定員30名程度
(定員ひび次第受付終了)
- 参加無料



David Kipler (デビッド・キプラー) 氏

カクタス・コミュニケーションズ株式会社

学術、サイエンス・コミュニケーションのスペシャリスト。第一言語が英語ではない研究者が、より多くの読者や聴衆を獲得する為のサポートを得意とする。

2005年、BELS(Board of Editors in the Life Science)校正者資格取得。更に、英語のリーディング・ライティング、医学英語の講師として幅広い経験を持ち、東京大学、慶応大学の医学部などでも講義を担当。また生物医学の出版分野に長くかわり、Journal of Epidemiologyを初め、日本の様々な学術誌の言語エディターを務める。